

米子工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	ドイツ語Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0082		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電気情報工学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	「A B R E I S E」伝え合うドイツ語				
担当教員	中島 美智子, 森田 典幸, 酒井 康宏, 青砥 正彦, 鈴木 草子, 渡邊 眞子				
到達目標					
1. 日常会話 2. 文構造の理解を深め実際に使えるフレーズの習得 3. ドイツ語圏の文化、経済、一般生活の学習					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	日常会話表現を使うことができる		日常会話表現を理解できる		日常会話表現を理解できない
評価項目2	文構造の理解を深め実際に使えるフレーズを使うことができる		文構造の理解ができる		文構造の理解ができない
評価項目3	ドイツ語圏の文化、経済をよく理解している		ドイツ語圏の文化、経済を理解している		ドイツ語圏の文化、経済を理解できない
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 E-1 JABEE f					
教育方法等					
概要	挨拶から日常会話レベルまですぐに使える基本フレーズを広げながら、ヨーロッパにおけるドイツの経済、文化、生活に触れていきます。				
授業の進め方・方法	授業に積極的に参加することが一番。 日常会話を楽しく学びます。				
注意点	欠席オーバーにならないよう、楽しく学んでください。時間に遅れないこと。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ドイツ語の基本復習	ドイツ語Ⅰの基本を理解している	
		2週	基本の挨拶からお祝いの言葉まで	基本表現の理解をしている	
		3週	bitte, を使って	bitteを用いた表現ができる	
		4週	話法の助動詞復習、話法の助動詞会話	話法の助動詞を理解し、会話ができる	
		5週	疑問詞を使って	疑問詞を使った表現ができる	
		6週	gibt es を使って	gibt esを用いることができる	
		7週	過去、過去分詞	過去、過去分詞を理解する	
		8週	前期中間試験	これまでの内容の理解ができる	
	2ndQ	9週	不規則動詞	不規則動詞の理解ができる	
		10週	前置詞	前置詞の理解ができる	
		11週	接続詞	接続詞の理解ができる	
		12週	完了形	完了形の理解ができる	
		13週	文化、経済	文化、経済の理解ができる	
		14週	前期末まとめ	これまでの内容の理解ができる	
		15週	前期末試験	これまでの内容の理解ができる	
		16週	前期末復習	これまでの内容の理解ができる	
後期	3rdQ	1週	ドイツ語会話 空港、乗り物	場面に応じた会話ができる	
		2週	ドイツ語会話 ホテル、フロント	場面に応じた会話ができる	
		3週	ドイツ語会話 ホテルサービス、トラブル	場面に応じた会話ができる	
		4週	ドイツ語会話 駅、列車	場面に応じた会話ができる	
		5週	ドイツ語会話 レストラン	場面に応じた会話ができる	
		6週	ドイツ語会話 食事	場面に応じた会話ができる	
		7週	ドイツ語会話 スーパーマーケット	場面に応じた会話ができる	
		8週	後期中間試験	これまでの内容の理解ができる	
	4thQ	9週	ドイツ語会話 クリスマス	場面に応じた会話ができる	
		10週	ドイツ語会話 家	場面に応じた会話ができる	
		11週	ドイツ語会話 観光	場面に応じた会話ができる	
		12週	ドイツ語会話 電話、インターネット、郵便	場面に応じた会話ができる	
		13週	ドイツ語会話 病院、薬局	場面に応じた会話ができる	
		14週	ドイツ語会話 復習	これまでの内容の理解ができる	
		15週	学年末試験	これまでの内容の理解ができる	
		16週	学年末復習	これまでの内容の理解ができる	
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

基礎的能力	工学基礎	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	前1,前5,前9,前13,後2,後6,後10
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	前2,前6,前10,前14,後3,後7,後11
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	前3,前7,前11,前15,後4,後8,後12
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3	前4,前8,前12,後1,後5,後9,後13,後14,後15

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	10	0	10	0	10	100
基礎的能力	70	10	0	10	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0